

さんぺい

輝枝

千葉市議会議員
(花見川区選出)

141号



未来立憲民主ちば会派

事務所 〒262-0025
千葉市花見川区花園1-20-14

TEL 043-299-1101 http://www.sanpei-terue.jp/
FAX 043-299-1104 sanpei3@d3.dion.ne.jp

皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

鮎安ストアーの撤退問題 取り組んでいます!!

幕張区画整理事業の中に
移動販売車が2社、週2日づつ
来ていただいています。が、
2町会の皆様のお働きと
伺っています。



今まで身近な所にスーパーがあり、 不安はなかった

花園地区の市民
の皆様のお声

①「鮎ヤスの跡地などにスーパーなどの誘致を市として働きかける事」や、「イトーヨーカドー・イオンなど移動販売車の配車を働きかける事」等の、お声を頂いています。

さんぺい輝枝
の活動と考え

①について私が、千葉市経済農政局に確認した所、現状を関係者に伝えていくとの確認をしました。
更に、さんぺい輝枝の業界に詳しい知人が地権者と知り合いなので、私たちの意向を地権者に伝えていきます。

花園地区の市民
の皆様のお声



特に介護支援まではと考える方々や 介護を利用されてる方々の不安

「お年寄りが近くのスーパーに、お買い物に行けなくて大変だ」「ヘルパーが買い物のために、身体介護などに支障をきたすため、大変だ」等のお話を伺っています。

さんぺい輝枝
の活動と考え

・距離的に買い物の無理を感じてきている方々は介護保険の申請を
・介護を受けている方々は、サービス内容の見直しを

1.高齢者の、お一人暮らしや、ご家族が障がい者のご家庭で、一生懸命体を動かしながら、鮎安までなら買い物に行けるのに、それ以上の距離は無理というような時は「介護保険の申請をして頂き、要支援等の介護支援を受けて頂きたい」と思います。
2.また、介護保険を既にご利用いただいている方々で、買い物等の生活介助を更に増やしたいと考える場合、下記の例のような身体介護と生活介助を組み合わせた利用方法があります。何かお困りの事がありましたら、さんぺい輝枝まで、お話しください。

お買い物で困っている方の生活介助は時間を増やすことも出来ます。お問い合わせはさんぺい輝枝まで。

| | | | |
|----|---------|--------------------------|------------|
| 一例 | 身体介護中心型 | 20分以上30分未満(250単位)+生活介助加算 | 45分(134単位) |
| | 身体介護中心型 | 30分以上1時間未満(396単位)+生活介助加算 | 20分(67単位) |

さんぺい輝枝も申請のお手伝いを今まで通りさせて頂きたいと、思います。

上記の様に、在宅介護で、身体介護だけを受けている方におかれましては、生活介助を組み合わせることで介護も受けられます。身体介護と生活介助を組み合わせることで算定することになります。

相談には、介護ヘルパーさんやケアマネージャーさん、保健福祉センター、運営に千葉市が補助金を出している安心ケアセンター、そして、さんぺい輝枝にもご相談下さい。

安心して住み続けられる街づくり

この度の、鮎安ストアーの撤退は住み続けている、私たちにとって、不安なものです。こうした中で、お一人暮らしの高齢者が安心して毎日を送れるように、これまで、私さんぺい輝枝は取り組んできました。1ページ目が、今回の、直近の課題について、さんぺい輝枝が、市民の皆様と取り組んで来たものです。2ページ目は、私が令和2年超高齢社会調査特別委員会が発言してきた一端を掲載させていただきました。



令和2年超高齢社会調査特別委員会 2020年1月28日

一部抜粋(つづきです。)

さんぺい輝枝が質問しました

さんぺい輝枝 認知症になっても、そういったあんしんケアセンターの具体的な取り組み、突っ込んだ取り組み、そして地域の方々との連携によって、認知症の方が外に出て困ってしまう、そして場合によっては、少し前になりますけれども、外で亡くなっていると。見つからずに亡くなっているというような事件もございました。そういったことが千葉市では発生しないように、ぜひ取り組みを進めていただきたいと思います。

次に、高齢者の移動に関するニーズでございます。これについてなんです、このアンケートをとっていただいたときに、75歳以上のみで構成されている世帯のうち、3,000名を無作為で抽出してやっていただいたということなんですけれども、これについて実際に、先ほど御説明いただきました調査結果の概要なんですけれども、例えば、通院に困っている、あるいは買い物に困っているというお話がございました。そういった中でそれぞれ、先ほど考察の中で、介護保険を使っている方々の中に、買い物に行くのが大変だとか、それからもう一つは病院に行くのが大変だとか、ほかの用事もあるかと思えます。こういった中で、私としては、買い物に行くというのは、介護保険を使っている方であれば、ヘルパーさんが買い物に行っていたらいいんじゃないかと思うんです。または一緒に行っていただくとか。そういったことがなされているのか。またはヘルパーさんが足りないのか、こういったことが出てくると。それからもう一つは、病院への対応も、病院に行きたい、かかりつけ医に行きたいと思っても、例えば、地域で歩いていくところだったらヘルパーさんが行けるかもしれないけれども、同じ千葉市内でも、例えば、花見川区から中央区、あるいは中央区から違うところというふうになりますと、今度は介護保険の中で、その方を送っていく制度が介護保険の中にはあると思うんですけど、それらがきちんと機能しているのか、伺いたしたいと思います。

高齢福祉課長 済みません。今、具体的なものは持ち合わせておりませんが、介護保険のほうで決まっているのは、あくまでも介護保険の点数で、通院の際の訪問介護の乗降の介助の部分としては介護保険の中で規定されておりますので、それについてはその点数分のサービス提供になります。それ以外には介護保険事業所として、その運行にかかる経費というのは実費で徴収しても構わないという形になっておりまして、その点で事業所によって差が出ているというような状況かと思えます。

実際にその費用については、通常のタクシーを利用する金額とそれほど変わらない、あるいはそれより若干抑えているというような感じになるのかなという認識をしております。

さんぺい輝枝 通院の費用とその他の費用と伺いました。通院は介護保険の中で認められている。その他は介護保険以外のサービスなのでそれなりの費用がかかると思いますが、通常のタクシーを使わざるを得ないときは、そのタクシー代はもう全額自己負担と。もう一度、先ほど御答弁いただいたと思うんですけど、この辺をもう一度明らかに。

高齢福祉課長 通常のタクシーを使う場合には、タクシー料金は一般の方と同じ形になります。訪問介護事業所が自分の事業所の車を使ってサービスを提供する場合には、それぞれで決めているという形になります。

さんぺい輝枝 そうしましたら、タクシーを使わざるを得ない事業所と、それからもう一つは、介護事業者なりで訪問介護するための、例えば、車があったりワゴン車があったりということで、それを使うと相当経費のほうも、もしかしたらタクシー並みではないのではないかなと思うんです。高齢者の方とか障害者の方に乗っていただくためには、通常のタクシー代よりも、たしか半額ぐらいだったか、ちょっと記憶が曖昧ではっきりとは言えないんですけども、かなり抑えられている金額だったと思います。そうしますと、介護事業所によっては、タクシーを使う、まるっきりタクシーだと。介護事業所によっては、訪問介護のための車があるよということだと、利用者にしてみると、どこの介護事業所を使っているかによって交通費が違ってくるような気がするんです。その辺が今回のアンケートに出ているのかなとも思うんですけども、その辺の御認識というか、どうなのか伺いたしたいと思います。

高齢福祉課長 あくまでも介護保険の範囲のサービスですと、ある程度限定的になります。その方が日常生活を営む上で必要最低限のものという形になりますので、通院、あとはどうしても行かなければいけない役所等の手続、あるいは選挙、そういったものは介護保険の対象にはなっておりますけれども、それ以外に、例えば、冠婚葬祭に出席するですとか、地域の集まりに出かけた、そういった場合には介護保険の対象にはならないという形になります。

先ほど、タクシーを半額で利用できるという話がございましたけれども、こ

ちらのほうは福祉有償運送というものでございまして、なかなか1人ではタクシー等の公共交通機関を利用できない方が利用するに当たって、NPO等、あるいは社会福祉法人等が実施しているんですけども、登録した上で利用する形になっておりまして、そちらについては、おおむねタクシーの半額程度というような形になっておりまして、特に利用の制限はありませんので、自分の行きたいところがあれば、そういった事業所を活用して行くことはできるということになります。

さんぺい輝枝 済みません。いろいろ御説明を伺ったんですけども、車を持っていない介護事業所があったりするの、あるいは、介護事業所によっては、介護に使うための車があるのか。それから数は。利用者が病院に行きたいと、もう高齢者になりますと、2週間に一遍は薬をもらうために通院しなければいけないわけです。そうすると、それらがちゃんと介護事業所として講じられていくのか。車に乗って行って、幾ばくかの料金かどうかわかりません。今、福祉有償運送ということで御説明をいただきましたけれども、それ以外に介護事業所がお連れする、あるいは、お連れできないパターンというのは、千葉市内のそれぞれの事業所でどうなっているのか、把握はどうされているのか伺います。

高齢福祉課長 通院等については、その需要に対して供給が全て満たされているのかということに関しては、詳細な確認をとっておりませんのではつきりとは申し上げられないのですが、今回のアンケートの中では、そういった要望というものが上がってきておりますので、少なからずはそういったものが全て充実しているとはなっていないのかと思っております。

さんぺい輝枝 まさにそのことが今回のアンケートの数字とか、あるいは、千葉市の皆さんの調査結果に対する考察ということになっているんだろうと思うんです。ただ、その背景がいま一つはつきりしないのは、この方たちは介護保険だけではないと思いますけれども、介護保険に特化して言わせていただければ、介護保険に特化した調査をやはり別建てでやっていただかなければいけないかと思いますが、お考えを伺います。

高齢福祉課長 今回のアンケートは、75歳以上の方3,000人に対して無作為抽出で実施いたしました。その中で、要介護認定を受けている方が10%ほどいらっしゃいました。ですので、そういった方々の回答というものを、いろいろな形でクロス集計等をして、さらに深掘りしまして、要介護認定、要介護状態の方の要望というものをすくい上げられるように、さらに分析を進めていきたいと思っております。

さんぺい輝枝 今いみじくも言っていただいたように、皆さんの要望を吸い上げるためには、この10%の方だけの話では済まないと思っております。それに、今伺った中では、それぞれの介護事業所で、移動に必要な車を、全部のところ、またニーズに必要なだけの車があるかどうかはまだわからないと。帰ればあるんですか、その数字は。帰ればあったら教えてもらいたんですけども、なければ、きちんとした調査をしていただかなければいけないと思うんですが、これだけの調査だけでは、介護保険に限って言えば、十分とは言えないので、今後とも要望を吸い上げるためには、介護保険を使っている方に特化した再度の調査が必要だと。外出支援、移動支援についての調査はやはりやっていただきたいということを強く私のほうからも申し上げたいと思っております。

それと、せんだって柏市に伺って、ワゴン車のようなバスを使ったり、あるいはまたタクシーなどを使って二つのサービスを提供しているというのを学ばせていただいたところでございます。そういった中で、デマンドバスの要望が、この調査の中にも入りましたね、たしか。デマンドバスが欲しいとか要望が入っていましたが、デマンドバス、デマンドタクシーについて、千葉市には絶対に必要だと。他市などを視察させていただいたり、このたびは直近の柏市に行って、柏市は国土交通省ですか、国が指導というか、一緒になってやってきたという経緯があるようでございます。千葉市はそういったことができなくても、柏市のほうを少し調査したり、もしくは、皆さんもう調査済みだと思いますので、デマンドバス、デマンドタクシーの必要性というものはどんなふうを考えているのか、お伺いいたします。

つづく

